浪江南地区 土地改良事業計画書

農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）

福　　島　　県

目　　次

第１章　目　　的 …… 1
第２章　地域及び地積 …… 1
　第１節　地　域 …… 1
　第２節　地　積 …… 1
第３章　現　　況 …… 2
　第１節　気象 …… 2
　　１　一般気象 …… 2
　　２　特殊気象 …… 2
　第２節　土地状況 …… 3
　　１　地形、土壌及び侵食の程度 …… 3
　　２　土地分類 …… 3
　　３　土地利用の状況 …… 4
　　４　土地所有の状況 …… 4
　第３節　水利状況 …… 5
　　１　用水状況 …… 5
　　２　排水状況 …… 8
　　３　河川状況 …… 10
　第４節　道路概況 …… 11
　　１　道路状況 …… 11
　　２　主要道路一覧表 …… 13
　第５節　地域農業の概況 …… 13
　　１　産業別就業人口 …… 13
　　２　経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数 …… 14
　　３　動力農機具及び主要家畜頭数 …… 14
　　４　主要作物作付状況 …… 15
　　５　農業の動向 …… 16
　第６節　地域環境の概況 …… 16
第４章　一　般　計　画 …… 17
　第１節　事業計画の要旨 …… 17
　　１　要　旨 …… 17
　　２　事業別面積 …… 17
　第２節　営農計画及び土地利用計画 …… 18
　　１　営農計画の概要 …… 18
　　２　土地利用区分 …… 18
　　３　作付方式 …… 19
　　４　生産計画 …… 20
　　５　労働改善計画 …… 21
　　６　級地別土地利用区分 …… 22
　　７　土地配分計画 …… 22
　第３節　用水計画 …… 22
　　１　計画基準年 …… 22
　　２　計画かんがい方式 …… 22
　　３　計画用水系統 …… 22
　　４　計画用水量 …… 24
　　５　水源計画 …… 25
　第４節　排水計画 …… 28
　　１　計画基準雨量 …… 28
　　２　計画排水方式 …… 28
　　３　計画排水系統 …… 28
　　４　計画排水量 …… 29
　　５　排水対策 …… 29
　　６　たん水検討 …… 30
　第５節　道路計画 …… 31
　　１　道路及び索道 …… 31

２　路線配置図 …… 31
第６節　農用地造成計画 …… 33
１　農用地造成計画 …… 33
２　土壌改良 …… 33
第７節　洪水調節計画 …… 33
１　計画基準雨量 …… 33
２　計画洪水量及び調節量 …… 33
３　貯水池 …… 33
４　洪水調節検討 …… 33
５　管理計画 …… 33
第８節　干拓計画 …… 33
第９節　農用地整備計画 …… 34
１　区画整理 …… 34
２　暗渠排水 …… 36
３　客　　土 …… 36
４　農地保全 …… 36
第10節　老朽ため池改修計画 …… 36
第５章　主要工事計画 …… 37
第１節　用水施設 …… 37
１　貯水池 …… 37
２　頭首工 …… 37
３　揚水機 …… 37
４　用水路 …… 37
５　その他かんがい施設 …… 37
第２節　排水施設 …… 37
１　排水水門 …… 37
２　排水機 …… 37
３　排水路 …… 38
４　その他排水施設 …… 38
第３節　道路及び索道 …… 38
第４節　農用地造成 …… 39
第５節　洪水調節施設 …… 39
第６節　干拓施設 …… 39
第７節　農用地整備施設 …… 40
１　区画整理 …… 40
２　暗渠排水 …… 40
３　客　　土 …… 41
４　除　　礫 …… 41
５　農地保全 …… 41
第８節　老朽ため池改修施設 …… 41
第６章　附帯工事計画 …… 42
第７章　工事の着手及び完了の予定時期 …… 42
第８章　環境との調和への配慮 …… 42
第９章　換地計画の概要 …… 43
第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 …… 43
第２節　換地区の設定 …… 43
１　換地区の名称、所在、面積 …… 43
２　換地区を設定する理由 …… 43
第３節　換地計画樹立の基本方針 …… 43
１　従前の土地の地積基準 …… 43
２　用途別予定地積 …… 44
３　農用地集団化の方針 …… 44
４　非農用地の換地方法 …… 45
第４節　土地の評価及び清算の方法 …… 45

１　評価の方法 …… 45
２　清算の方法 …… 45
第５節　換地計画樹立の年度計画 …… 46
第６節　換地処分の時期に関する特則 …… 46
第10章　事業費の総額及び内訳 …… 47
第11章　効　　用 …… 48
第12章　関連する事業 …… 48
第13章　現況・計画図面 …… 48
１　計画一般図 …… 48

第１章　目　　的

本地区はJR常磐線「浪江駅」の南へ約0.7km、常磐自動車道浪江インターチェンジの南東へ約2.8kmの地点に位置し、二級河川高瀬川左岸に拓けた水田地帯である。東日本大震災による津波被災と原発事故に伴う避難指示等により住民が長期間避難したことから、町内にある土地改良施設は従来のような維持管理が不可能となり、施設の劣化や機能低下が進んでいる。

本地区の農業生産基盤としてのほ場条件は、これまで昭和29年～31年にかけて団体営事業で区画整理を実施した地域であるが、小規模な整備のため区画が小区画で営農や維持管理に多大な労力を費やしている状況である。農道は大型機械のすれ違いが出来なく農耕車両の進入を阻害し、用排水路についても老朽化が酷く漏水や土砂上げの水管理に多大な労力・経費を要しており、効果的な農業経営が見込めない状況である。

このため、本事業により営農再開される農地環境の整備と併せて土地改良施設の整備を行うことにより農業生産基盤強化を図り、速やかに営農再開が実現できる状況を構築し、営農意欲のある住民の帰還促進と地域農業の再建を図ることを目的としている。

第２章　地 域 及 び 地 積

第１節　地　　域

（第1表）

事　　業　　名	地　　域
農山村地域復興基盤総合整備事業 （農地整備事業）	福島県双葉郡浪江町大字川添地内　外

第２節　地　　積

（令和5年7月現在）　　（第2表）

事　　業　　名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原　　野 (ha)	山　　林 (ha)	そ　の　他 (ha)	計 (ha)	備　　考
農山村地域復興基盤総合整備事業 （農地整備事業）	浪　江　町	57.0	12.8	0.0	0.0	10.6	80.4	
	計	57.0	12.8	0.0	0.0	10.6	80.4	

第３章　　現　　況

第１節　気　　象

１　一般気象

（第3表-1）

観測所名	浪江	かんがい期	非かんがい期	計	備考
観測期間	H25年～R4年	4月 ～ 9月	9月 ～ 4月		
平均気温		20.7 ℃	9.0 ℃	13.3 ℃	
降水量	平均	631.5 m/m	804.0 m/m	1,435.5 m/m	
	基準年	441.6 m/m	630.6 m/m	1,072.2 m/m	1949年
降水日数	平均	56 日	60 日	116 日	
	基準年	40 日	52 日	92 日	1949年
根雪期間		－			
無霜期間		－			
最多風向		西	最大風速	m/S 16.3	左発生時期　2017年　4月19日

２　特殊気象

（第3表-2）

観測所名 浪江	第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備考
観測期間 H5年～R4年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量	mm 301.0	R1.10.12	1/30	mm 285.0	H8.9.22	1/22	mm 265.0	H18.10.6	1/15	mm 243.0	H21.10.8	1/10	mm 226.0	H12.7.8	1/7	
最大時間雨量	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
最大４時間雨量	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
最大連続降水量	483.0	H10.8.26 ～ 9.01	1/93	371.0	H18.10.5 ～ 10.7	1/14	343.5	H20.8.19 ～09.02	1/9	339.5	R1.10.11 ～10.14	1/8	324.5	H27.9.6 ～ 9.11	1/6	
最大連続旱天日数	40日	H8.5.13 ～ 6.21	1/320	30日	H24.7.9 ～ 8.7	1/22	23日	R2.4.26 ～ 5.18	1/4	22日	R1.7.29 ～ 8.19	1/3	22日	H30.7.7 ～ 7.28	1/3	

３　海象

該当なし省略

第２節　土地状況

１　地形、土壌および侵食の程度

（第4表-1-1）

地目	田 (ha)						畑その他(ha)								受益地標高		備考
傾斜区分	1/1,000以下	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°～以下	3°～8°	8°～15° 8°～10°	8°～15° 10°～15°	8°～15° 8°～15°	15°～20°	20°～以上	計	最高 (m)	最低 (m)	
面積	ha	57.0				ha 57.0	12.8							ha 12.8	18	7	
比率 %		100.0				100								100			

（第4表-1-2）

項目 / 土壌統（区）名	土壌統（区）区分一覧表										面積	備考
	土壌断面								堆積様式	母材		
	色	腐植	礫層	酸化沈澱物	土性 表土（一層）	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層、黒泥層およびグライ層				
黒泥土壌強粘土型	黒褐	あり	なし	あり	LiC	LiC	SOL	黒泥層あり	集積	ヨシ等	24.7	C-20
灰色土壌砂土型	黄褐灰	あり	なし	あり	SL	LS	S	なし	水積	非固結水成岩	16.2	F-54
灰褐色土壌強粘土構造型	黄褐灰	あり	なし	あり	CL	CL	L	なし	水積	非固結水成岩	7.4	G-60
礫質土壌壌土マンガン型	黒褐	あり	あり	あり	SCL	SCL	LS	なし	水積	非固結水成岩	8.7	J-93
岡和田統	黒褐	なし	なし	なし	SL	SL	S	なし	水積	非固結水成岩	12.8	畑
合計											ha 69.8	

２　土地分類

該当なし省略

３　土地利用の状況

（令和6年7月現在）　（第4表-3）

事業名	土地利用別 / 市町村名	耕地								山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）	浪江町	57.0	12.8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	10.6	80.4	0.0以下は0とする
合計		57.0	12.8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	10.6	80.4	0.0以下は0とする

４　土地所有の状況

（令和6年7月現在）　（第4表-4）

事業名	所有別 / 区分	個人有	部落有	市町村有	国県有	計	備考
農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）	面積 (ha)	69.8		10.6		80.4	
	受益者数（人）	125				125	
	筆数（筆）	1020		452	47	1519	
	権利関係	169		1	1	171	
	備考						

第３節　水利状況

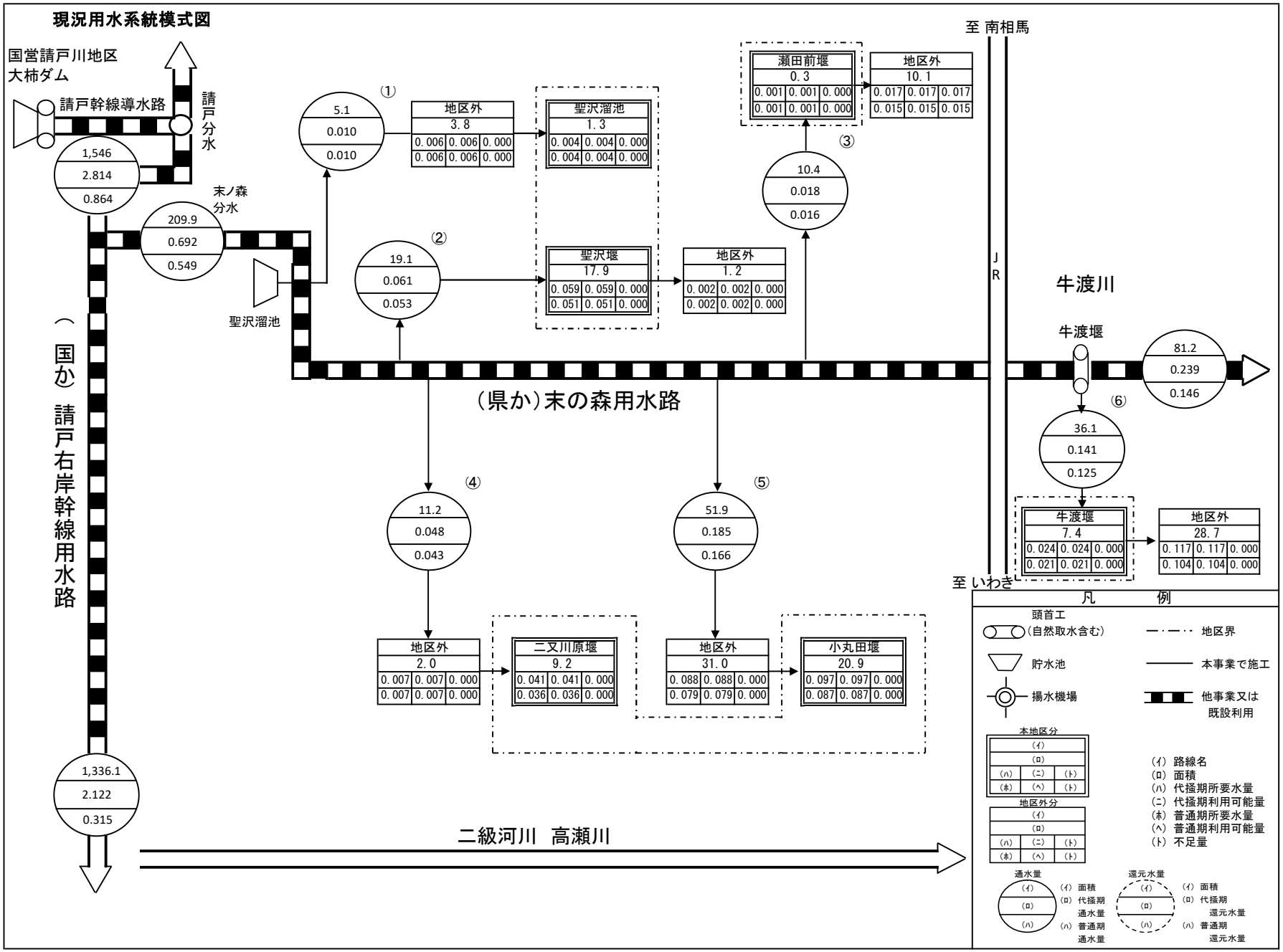
１　用水状況

本地区の用水は、国営請戸川地区により、二級河川請戸川の大柿ダムより取水され、請戸幹線導水路、請戸左岸幹線用水路、末の森用水路を経て各取水工により本地区に灌漑されている。上記の水源水量については安定的に供給されている。現況は大部分が舗装水路であるが、老朽化が進行し漏水や河床洗掘が多く営農に苦慮している。

又、用排兼用のため、水の安定供給の障害とともに維持管理に多大な障害をきたしている。

(1) 用水系統

別紙　現況用水系統模式図　参照


現況用水系統模式図
国営請戸川地区
大柿ダム
請戸幹線導水路
請戸分水
1,546
2.814
0.864
末ノ森
分水
209.9
0.692
0.549
聖沢溜池
（国か）請戸右岸幹線用水路
1,336.1
2.122
0.315
①
5.1
0.010
0.010
地区外
3.8
0.006 0.006 0.000
0.006 0.006 0.000
聖沢溜池
1.3
0.004 0.004 0.000
0.004 0.004 0.000
②
19.1
0.061
0.053
聖沢堰
17.9
0.059 0.059 0.000
0.051 0.051 0.000
地区外
1.2
0.002 0.002 0.000
0.002 0.002 0.000
瀬田前堰
0.3
0.001 0.001 0.000
0.001 0.001 0.000
地区外
10.1
0.017 0.017 0.017
0.015 0.015 0.015
③
10.4
0.018
0.016
至 南相馬
J
R
牛渡川
牛渡堰
81.2
0.239
0.146
⑥
36.1
0.141
0.125
牛渡堰
7.4
0.024 0.024 0.000
0.021 0.021 0.000
地区外
28.7
0.117 0.117 0.000
0.104 0.104 0.000
（県か）末の森用水路
④
11.2
0.048
0.043
⑤
51.9
0.185
0.166
地区外
2.0
0.007 0.007 0.000
0.007 0.007 0.000
二又川原堰
9.2
0.041 0.041 0.000
0.036 0.036 0.000
地区外
31.0
0.088 0.088 0.000
0.079 0.079 0.000
小丸田堰
20.9
0.097 0.097 0.000
0.087 0.087 0.000
至 いわき
二級河川 高瀬川
凡 例
頭首工
(自然取水含む)
貯水池
揚水機場
地区界
本事業で施工
他事業又は
既設利用
本地区分
(イ)
(ロ)
(ハ) (ニ) (ト)
(ホ) (ヘ) (ト)
地区外分
(イ)
(ロ)
(ハ) (ニ) (ト)
(ホ) (ヘ) (ト)
(イ) 路線名
(ロ) 面積
(ハ) 代掻期所要水量
(ニ) 代掻期利用可能量
(ホ) 普通期所要水量
(ヘ) 普通期利用可能量
(ト) 不足量
通水量
(イ) 面積
(ロ) 代掻期
通水量
(ハ) 普通期
通水量
還元水量
(イ) 面積
(ロ) 代掻期
還元水量
(ハ) 普通期
還元水量

(2) 用水施設

(ｱ) 取水方法一覧表　　（第5表-1）

事業名	項目／施設名	かんがい面積 500ha以上 個所	かんがい面積 500ha以上 ha	かんがい面積 500ha～100ha 個所	かんがい面積 500ha～100ha ha	かんがい面積 100ha未満 個所	かんがい面積 100ha未満 ha	計 個所	計 ha	水利権 個所	水利権 m3/S	慣行水利権 個所	慣行水利権 m3/S	延べ取水量 m3/S	備考
（農山村地域復興基盤総合整備事業）	貯水池					1	(1.3) 5.1	1	(1.3) 5.1			1	(0.004) 0.010	(0.004) 0.010	
	井堰					5	(55.7) 128.7	5	(55.7) 128.7				(0.222) 0.453	(0.222) 0.453	
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計					6	(57.0) 133.8	6	(57.0) 133.8			1	(0.226) 0.463	(0.226) 0.463	
合計						6	(57.0) 133.8	6	(57.0) 133.8			1	(0.226) 0.463	(0.226) 0.463	（　）は地区内

(ｲ) 改修を要する一覧表　　該当なし省略

(3) 用水に関する被害状況

(ｱ) 用水不足による被害状況　　該当なし省略

(ｲ) その他の被害状況　　該当なし省略

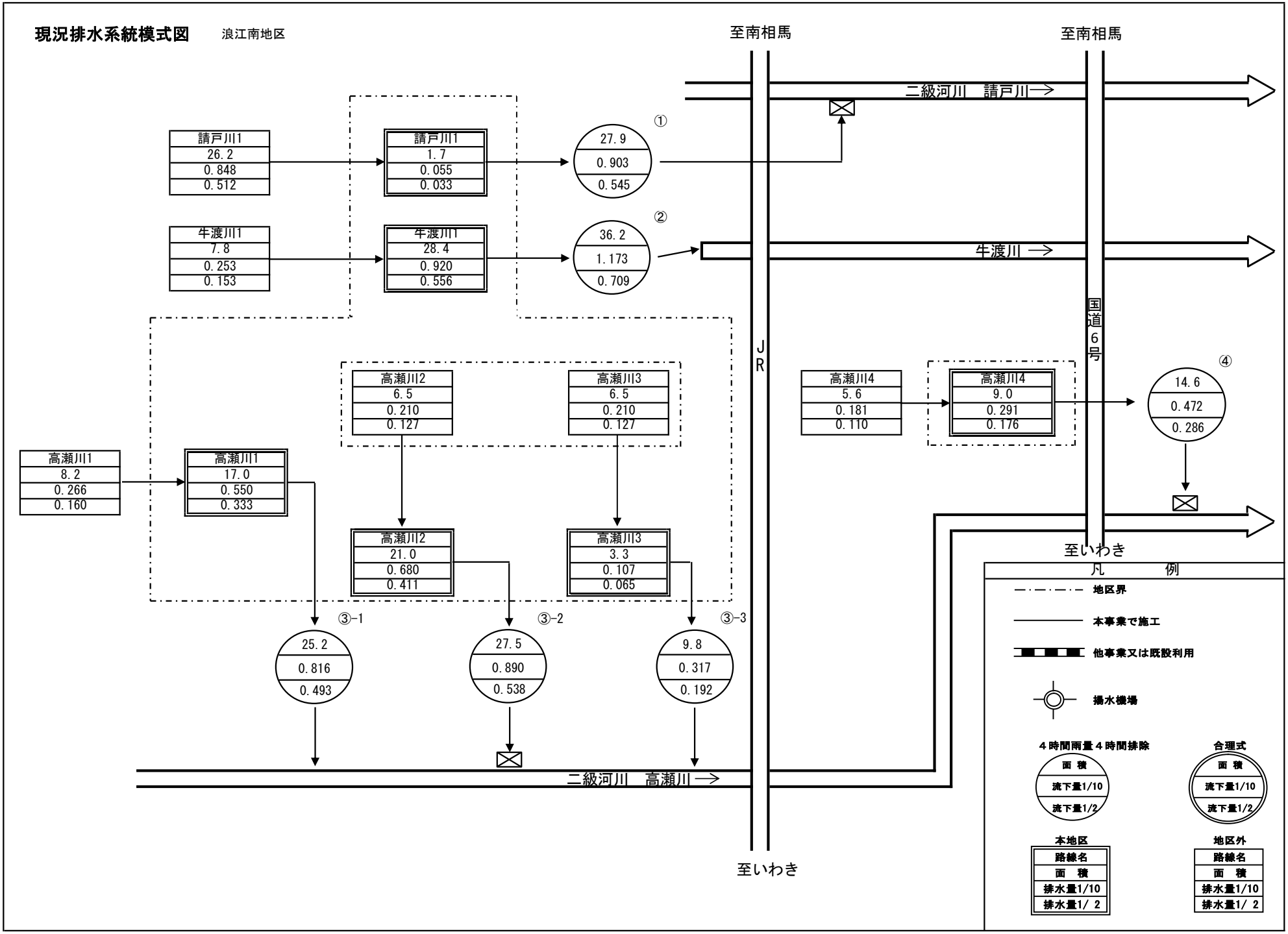
(4) ため池決壊の場合の想定被害状況　　該当なし省略

２　排水状況

本地区の排水は、地区内排水路、地区外排水路を経て二級河川請戸川および高瀬川へ自然排水されており排水状況は良好で排水被害は認められない。ただし、地区内排水路については老朽化が進んでおり維持管理に苦慮していると共に河床も浅いため汎用化の阻害要因ともなっている状況である。

(1) 排水系統

別紙　現況排水系統模式図　参照


現況排水系統模式図
浪江南地区
至南相馬
至南相馬
二級河川　請戸川
請戸川1
26.2
0.848
0.512
請戸川1
1.7
0.055
0.033
①
27.9
0.903
0.545
牛渡川1
7.8
0.253
0.153
牛渡川1
28.4
0.920
0.556
②
36.2
1.173
0.709
牛渡川
JR
国道6号
高瀬川2
6.5
0.210
0.127
高瀬川3
6.5
0.210
0.127
高瀬川4
5.6
0.181
0.110
高瀬川4
9.0
0.291
0.176
④
14.6
0.472
0.286
高瀬川1
8.2
0.266
0.160
高瀬川1
17.0
0.550
0.333
高瀬川2
21.0
0.680
0.411
高瀬川3
3.3
0.107
0.065
③-1
25.2
0.816
0.493
③-2
27.5
0.890
0.538
③-3
9.8
0.317
0.192
二級河川　高瀬川
至いわき
至いわき
凡　例
地区界
本事業で施工
他事業又は既設利用
揚水機場
４時間雨量４時間排除
面 積
流下量1/10
流下量1/2
合理式
面 積
流下量1/10
流下量1/2
本地区
路線名
面 積
排水量1/10
排水量1/ 2
地区外
路線名
面 積
排水量1/10
排水量1/ 2

(2) 排水施設

(ｱ) 排水方法一覧表

（第5表-4）

事業名	項目／施設名		排水面積 500ha以上 箇所	500ha以上 ha	500ha～100ha 箇所	500ha～100ha ha	100ha未満 箇所	100ha未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 (m3／s)	現況排水能力 (m3／s)	備考
農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）	自然	排水路					6	141.2	6	141.2	4.571	4.571	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計						6	141.2	6	141.2	4.571	4.571	
合計							6	141.2	6	141.2	4.571	4.571	

(ｲ) 改修を要する施設の一覧表　　該当なし省略

(3) 排水に関する被害状況　　該当なし省略

3 河川状況

(1) 河川状況　　該当なし省略

(2) 洪水に関する被害状況　　該当なし省略

第４節　道路概況

本地区の道路状況は、一、二級町道が隣接しており生活道路並び営農に欠くことの出来ない道路となっている。
地区内の農道については、アスファルト道路はあるが殆どが砂利道で幅員も狭く通作に苦慮していると共に、農地集積や機械施設の適正配置及び効率的利用の阻害要因となっている。

１　道路状況

別紙　現況道路網図　参照

現況道路網図

③
佐野下高塚線（2級）
①
鳥喰後畑線（1級）
②
曲師前矢沢町線（1級）
二級河川
二級河川
JR常磐線
浪江駅
一仙台
国道6号
いわき→
牛渡川
高瀬川
浪江町

２　主要道路一覧表　（第6表）

番号	路線名	管理区分別	延長(m)	巾員（m）全巾	巾員（m）有効	構造	改修の要否	備考
①	鳥喰後畑線	浪江町	－	－	－	アスファルト舗装	否	
②	曲師前矢沢町線	浪江町	－	－	－	アスファルト舗装	否	
③	佐野下高塚線	浪江町	－	－	－	アスファルト舗装	否	
計								

第５節　地域農業の概況

１　産業別就業人口（国勢調査R2年による）　（令和2年10月現在）　（第7表-1）

項目／市町村名	総数（人）	農業（人）	林業（人）	漁業（人）	鉱業（人）	建設業（人）	製造業（人）	電気ガス熱供給水道業（人）	運輸通信業（人）	卸売小売業飲食店（人）	金融保険業（人）	不動産業（人）	サービス業（人）	公務（人）	その他（人）	備考
浪江町	9,849	680	50	151	5	1,777	1,392	181	382	1,318	125	82	1,971	294	1,441	
計	9,849	680	50	151	5	1,777	1,392	181	382	1,318	125	82	1,971	294	1,441	
比率（％）	100	6	1	2	0	18	14	2	4	13	1	1	20	3	15	

※政府統計e-stat「令和2年国勢調査就業状態等基本集計（総務省統計局）」による。

2　経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

（2010年農業センサスによる）（平成22年2月現在）　（第7表-2）

区分 / 市町村名	農家総戸数	経営耕地広狭別農家数											1戸当たり平均農用地面積						耕地の分散状況		専兼業別農家数		
		例外規定の適用を受けるもの	0.3 ha 未満	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～以上		自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり団地数	団地当たり面積	専業	兼業 第一種	兼業 第二種
	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸			ha	ha	ha	ha	ha	ha		ha	戸	戸	戸
浪江町	1,019			111	243	209	146	151	108	51			1.47	0.43	0.02	1.92	0.13	2.05			153	83	783
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%			%	%	%	%	%	%			%	%	
比率	100			11	23	21	14	15	11	5			72	21	1	94	6	100			15	8	77

※2011年以降は震災の影響により統計指標なし

3　動力農機具及び主要家畜頭数

（2010年農業センサスによる）（平成22年2月現在）　（第7表-3）

項目 / 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	動力防除機		トラクター		コンバイン		田植機		乳用牛		肉用牛		豚		にわとり		
	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	頭数（頭）	戸数（戸）	頭数（頭）	戸数（戸）	頭数（頭）	戸数（戸）	羽数（羽）	戸数（戸）	
浪江町	—	—	1,071	879	432	424	676	666	633	32	512	63	—	—	x	1	
計	—	—	1,071	879	432	424	676	—	633	32	512	63			x	1	
100戸当たり数量（台、頭）	—		122		102		102		1978		813				x		
利用戸数の割合	—	%	86	%	42	%	65	%	3	%	6	%	—	%	—	%	

※2011年以降は震災の影響により統計指標なし

※100戸当たり数量＝台（頭）数/農家総戸数、　利用戸数の割合＝戸数/総戸数

4　主要作物作付状況（2011年以降は震災の影響により統計指標なしのため震災直近記載）　（平成22年～平成23年第58次東北農林水産統計年報）（平成24年3月現在）（第7表-4）

市町村名		浪江町		計	平均	作付率	備考
総耕地面積 (ha)		2,720		2,720			
総本地面積 (ha)		2,619		2,619			
区分 / 作物名		作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg／10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg／10a)	(%)	
田	水稲	1,250	525	1,250	525	93	
畑	野菜	4	133	4	133	0	秋冬だいこん
	豆類	96	122	96	122	7	大豆
	雑穀	1	35	1	35	0	なたね
	飼料作物	－	－	－	－	－	平成19年以降調査なし
	その他	－	－	－	－	－	
樹園地	果樹	－	－	－	－	－	平成19年以降調査なし
	花卉	－	－	－	－	－	平成19年以降調査なし
計		1,351		1,351		100	※市町村別統計値のある作物を記載。
市町村別延べ作付率（%）							平成19年以降調査なし

５　農業の動向　　（平成27年2月現在）（第7表-5）

区分＼項目	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域指定等	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家数	79	－	耕地	87	－	水稲	91	－	乳用牛	88	－	動力防除機	－	－	農振 都市計画区域	A：平成 27 年（2015年ｾﾝｻｽ） B：平成 22 年（2010年ｾﾝｻｽ） C：平成 17 年（2005年ｾﾝｻｽ）
	専業農家数	85	－	田	89	－	豆類	－	－	肉用牛	79	－	トラクター	80	－		
	第一種兼業農家数	119	－	畑	78	－	麦類	533	－	豚	0	－	ｺﾝﾊﾞｲﾝ	69	－		
	第二種兼業農家数	75	－	樹園地	78	－	野菜	－	－	にわとり	0	－	田植機	74	－		
	農業従事者数	291	－				花き類 木目	－	－								
変化の理由	社会経済的変化			同左			同左			同左			農業の機械化				

第6節　地域環境の概況

本区域には、西側に阿武隈高地の斜面緑地、東側には太平洋が広がり、丘陵から海に向けて請戸川や高瀬川などの河川が流れ、その流域に広がる農地によって構成されている。斜面の緑地は景観・環境面で貴重であるばかりでなく、崖崩れの防止等防災面においても大きく寄与している。また農地は、緑豊かな田園景観を形成している。さらに、海岸や河川は、請戸漁港を中心とした海洋レクリエーションや県立自然公園を含む渓谷部における美しい景観を形成し、憩いやレジャー機能を提供するとともに、潤いのある景観を提供している。

第４章　一般計画

第１節　事業計画の要旨

１　要　旨

標準区画は農地集積による大型機械による営農を考慮しつつ地形状況に配慮し、100m×60mの60a区画を標準とする。
水路については、用排水路分離を基本に全線装工とする。用水路についてはパイプライン方式を採用する。
排水路については明渠による自然排水方式とし、排水フリューム構造とする。
道路計画については、大型機械との効率的運行を考慮した幅員・道路網整備とする。

２　事業別面積

（第8表）

事業名	農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）																		計	備考
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	小計 (ha)	(ha)	
区画整理	36.8	19.9	12.8			69.5													69.5	
計	36.8	19.9	12.8			69.5													69.5	

※客土工は、区画整理の内数として（　）で記載。

第２節　営農計画及び土地利用計画

１　営農計画の概要

経営方式　　水稲＋畑作物

経営組織及び作業体系　　担い手農家を中心に事業完了時までに担い手を現在の4名から5名とし、賃借により農地流動化を促進させる。また、農業機械等の過剰投資抑制を図り水稲中心とした営農により農地の有効利用を目指す。

２　土地利用区分

（第9表-1）

事業名	土地利用区分 / 区分	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	桑園 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）	現況	57.0		12.8				69.8	0.0	0.0	10.6	80.4	
	計画	36.8	19.9	12.8				69.5	0.0	0.0	10.9	80.4	
	現況												
	計画												
計	現況	57.0		12.8				69.8	0.0	0.0	10.6	80.4	
	計画	36.8	19.9	12.8				69.5	0.0	0.0	10.9	80.4	

３　作付方式

（第9表-2）

事業名	項目	区分／地目	経営類型	１年目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	２年目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	３年目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考
農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）	現況	田	水稲				○	○△		水	稲		××						○	○△		水	稲		××						○	○△		水	稲		××			○ 播種 △ 移植 × 収穫
		畑	野菜									たまねぎ	○△								××			たまねぎ	○△								××			たまねぎ	○△			
													○	小麦							××				○	小麦							××				○	小麦		
	計画	田	水稲				○	○△		水	稲		××						○	○△		水	稲		××						○	○△		水	稲		××			
		畑	野菜									たまねぎ	○△								××			たまねぎ	○△								××			たまねぎ	○△			
								○	大豆	○	×		×							○	大豆	○	×		×							○	大豆	○	×		×			
							○	ねぎ			△			×	×				○	ねぎ			△			×	×				○	ねぎ			△			×		
													○	小麦							××				○	小麦							××				○	小麦		

4　生産計画　　（第9表-3）

事業名	項目／土地利用区分	作物名	作付面積 (ha) 現況	作付面積 (ha) 計画	作付面積 (ha) 増減	作付率 (%) 現況	作付率 (%) 計画	単位面積当たり収量 (kg/10a) 現況	単位面積当たり収量 (kg/10a) 計画	単位面積当たり収量 (kg/10a) 増減	生産量 (t) 現況	生産量 (t) 計画	生産量 (t) 増減	同左生産量増減の内訳 (t) 面積増減	同左生産量増減の内訳 (t) 単位面積当収量増加	備考
農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）	輪換田	水稲	1.8	36.4	34.6	3	64.8	517	527	10	9.3	191.8	182.5	178.9	3.6	
		タマネギ		7.2	7.2		12.8		2,967	2967		213.6	213.6		213.7	
		大豆		5.1	5.1		9.1		276	276		14.1	14.1		14.2	
		ねぎ		7.4	7.4		13.2		1,998	1998		147.9	147.9		148.0	
		小計	1.8	56.1	54.3	2.7	99.9				9.3	567.4	558.1	178.9	379.5	
		自己保全管理	53.1		△ 53.1	78.4										
		小計	54.9	56.1	1.2	81	100				9.3	567.4	558.1	178.9	379.5	
	普通畑	たまねぎ	5.1		△ 5.1	8		2,580		△ 2580	131.6		△ 131.6		△ 131.6	
		大豆		2.6	2.6		3.8		276	276		7.2	7.2	7.2		
		ねぎ		4.7	4.7		6.8		1,737	1737		81.6	81.6		81.6	
		小麦	7.7	5.5	△ 2.2	11	8.0	183	317	134	14.1	17.4	3.3	△ 4.0	7.3	
		自己保全管理														
		小計	12.8	12.8		19	18.6				145.7	106.2	△ 39.5	3.2	△ 42.7	
	合計		67.7	68.9	1.2	100.0	118.5				155.0	673.6	518.6	182.1	336.8	

５　労働改善計画

（第9表-4）

事業名	項目 / 土地利用区分	作物名	作付面積	区分	単位面積当たり労働投下量(hr／ha) 現況	計画	増減	備考
農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）	田	水稲 担い手農家 （100a乾田）	2.8 ha	機械力	174.7	102.2	△ 72.5	
				人力	240.1	146.8	△ 93.3	
		水稲 担い手農家 （100a湿田）	2.2 ha	機械力	205.0	102.2	△ 102.8	
				人力	273.9	146.8	△ 127.1	
		水稲 担い手農家 （50a乾田）	6.4 ha	機械力	174.7	107.3	△ 67.4	
				人力	240.1	152.6	△ 87.5	
		水稲 担い手農家 （50a湿田）	14.6 ha	機械力	205.0	107.3	△ 97.7	
				人力	273.9	152.6	△ 121.3	
		水稲 担い手農家 （30a乾田）	2.3 ha	機械力	174.7	114.6	△ 60.1	
				人力	240.1	161.0	△ 79.1	
		水稲 担い手農家 （30a湿田）	8.1 ha	機械力	205.0	114.6	△ 90.4	
				人力	273.9	161.0	△ 112.9	
		たまねぎ 担い手農家 （50a乾田）	6.0 ha	機械力	92.3	62.5	△ 29.8	
				人力	2,101.0	1,736.0	△ 365.0	
		たまねぎ 担い手農家 （30a乾田）	1.2 ha	機械力	92.3	66.2	△ 26.1	
				人力	2,101.0	1,782.0	△ 319.0	
		大豆 生産組織 （100a乾田）	1.2 ha	機械力	132.0	76.6	△ 55.4	
				人力	151.6	96.2	△ 55.4	
		大豆 生産組織 （50a乾田）	2.7 ha	機械力	132.0	81.0	△ 51.0	
				人力	151.6	100.6	△ 51.0	
		大豆 生産組織 （30a乾田）	1.2 ha	機械力	132.0	87.7	△ 44.3	
				人力	151.6	107.3	△ 44.3	
		ねぎ 生産組織 （50a乾田）	6.0 ha	機械力	648.3	519.0	△ 129.3	
				人力	7,793.5	5,326.0	△ 2,467.5	
		ねぎ 生産組織 （30a乾田）	1.4 ha	機械力	648.3	535.2	△ 113.1	
				人力	7793.5	5658.4	△ 2135.1	
	畑	小麦 担い手農家 （30a乾畑）	5.0 ha	機械力	74.4	47.9	△ 26.5	
				人力	120.4	86.9	△ 33.5	
		小麦 担い手農家 （30a湿畑）	0.5 ha	機械力	98.3	47.9	△ 50.4	
				人力	147.7	86.9	△ 60.8	
		大豆 生産組織 （50a乾畑）	2.0 ha	機械力	130.4	80.4	△ 50.0	
				人力	150.0	100.0	△ 50.0	
		大豆 生産組織 （30a乾畑）	0.6 ha	機械力	130.4	87.0	△ 43.4	
				人力	150.0	106.6	△ 43.4	
		ねぎ 生産組織 （50a乾畑）	2.6 ha	機械力	643.4	517.2	△ 126.2	
				人力	7788.6	5324.2	△ 2464.4	
		ねぎ 生産組織 （30a乾畑）	2.1 ha	機械力	643.4	533.3	△ 110.1	
				人力	7788.6	5656.5	△ 2132.1	
計			68.9					

６　級地別土地利用区分　　該当なし省略

７　土地配分計画　　該当なし省略

第３節　用水計画

１　計画基準年

国営かんがい排水事業　請戸川地区に準じる。

計画基準年・・・・・・1949年(S24年)とする。

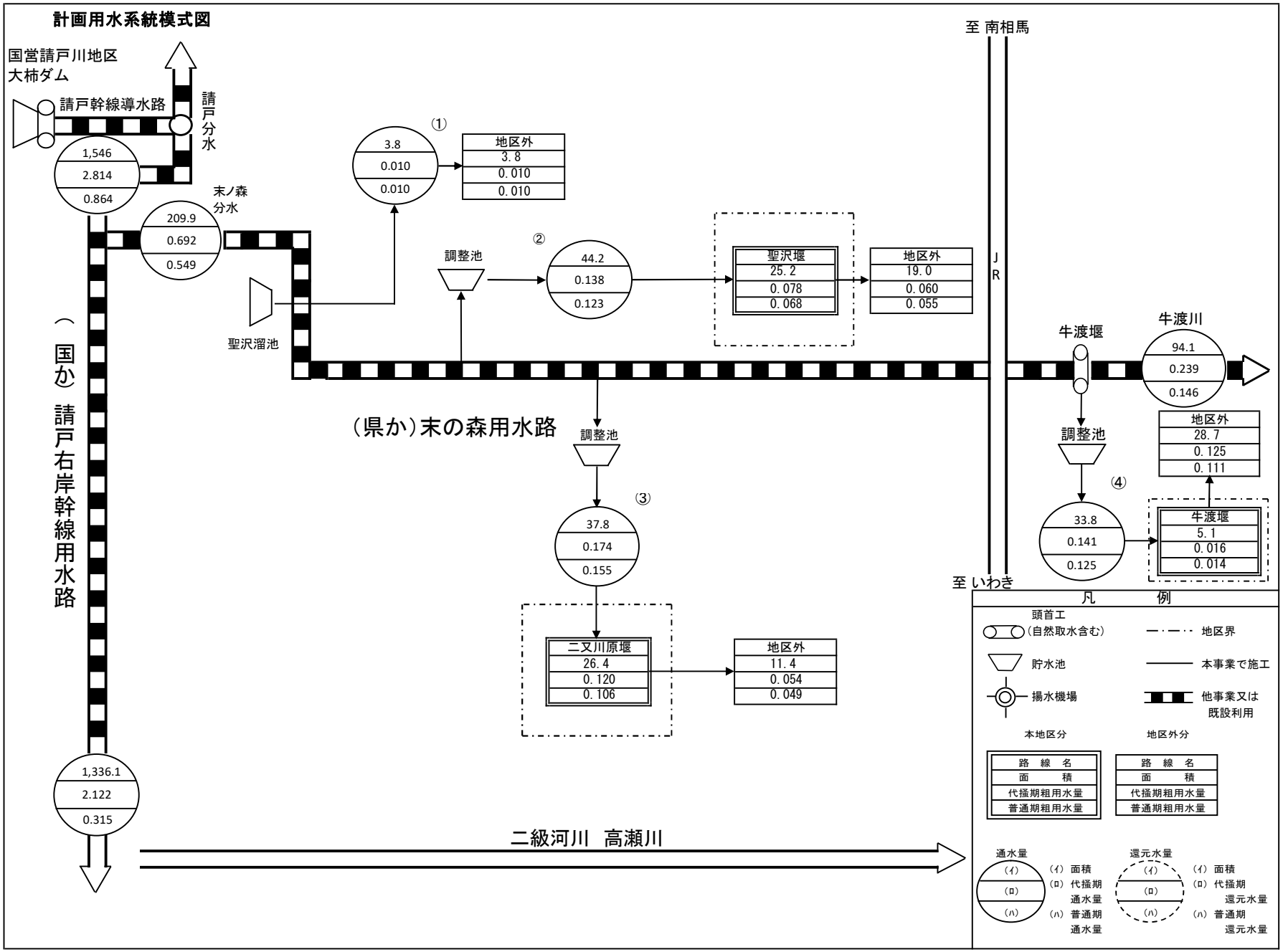
２　計画かんがい方式

冷水温障害防止と節水を考慮し、所定量を給水した後、田面貯留しておく、湛水かんがい方式とする。

かんがい期間	4月26日	～	9月5日	133 日間
（代掻き期間	4月26日	～	5月10日	15 日間）

３　計画用水系統

別紙　計画用水系統模式図　参照


計画用水系統模式図
国営請戸川地区
大柿ダム
請戸幹線導水路
請戸分水
1,546
2.814
0.864
末ノ森分水
209.9
0.692
0.549
聖沢溜池
①
3.8
0.010
0.010
地区外
3.8
0.010
0.010
調整池
②
44.2
0.138
0.123
聖沢堰
25.2
0.078
0.068
地区外
19.0
0.060
0.055
（国か）請戸右岸幹線用水路
（県か）末の森用水路
調整池
③
37.8
0.174
0.155
二又川原堰
26.4
0.120
0.106
地区外
11.4
0.054
0.049
1,336.1
2.122
0.315
二級河川　高瀬川
至 南相馬
至 いわき
JR
牛渡堰
牛渡川
94.1
0.239
0.146
調整池
④
33.8
0.141
0.125
牛渡堰
5.1
0.016
0.014
地区外
28.7
0.125
0.111
凡　例
頭首工
(自然取水含む)
貯水池
揚水機場
地区界
本事業で施工
他事業又は
既設利用
本地区分
路線名
面積
代掻期粗用水量
普通期粗用水量
地区外分
路線名
面積
代掻期粗用水量
普通期粗用水量
通水量
(イ)
(ロ)
(ハ)
(イ) 面積
(ロ) 代掻期
通水量
(ハ) 普通期
通水量
還元水量
(イ)
(ロ)
(ハ)
(イ) 面積
(ロ) 代掻期
還元水量
(ハ) 普通期
還元水量

４　計画用水量

（１）　かんがい用水

（第10表-1）

項目 / 系統名	種別	面積(ha) 事業名 (農山村地域復興基盤総合整備事業 / 農地整備事業)	計	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量 (mm／日)	水田かんがい 代かき期 計画代かき単位用水量 (mm)	水田かんがい 面積 (ha)	水田畑利用 一日当たり計画平均かん水深 (mm／日)	水田畑利用 平均間断日数	水田畑利用 面積 (ha)	畑地かんがい 一日当たり計画平均かん水深 (mm／日)	畑地かんがい 平均間断日数 (日)	畑地かんがい 面積 (ha)	その他 計画平均単位用水量 (mm／日)	その他 面積 (ha)	消費水量 (m3/S)	損失率 (%)	粗用水量 平均 (m3/S)	粗用水量 最大 (m3/S)	備考
聖沢溜池	農業用水	0.0	0.0	18	110	0.0									代 0.000 普 0.000	10	0.000	0.000	
聖沢堰	農業用水	25.2	25.2	26	130	25.2									代 0.070 普 0.061	10	0.068	0.078	
二又川原堰	農業用水	26.4	26.4	18	110	26.4									代 0.108 普 0.095	10	0.106	0.120	
牛渡堰	農業用水	5.1	5.1	34	140	5.1									代 0.014 普 0.013	10	0.014	0.016	
計		56.7	56.7			56.7									代 0.192 普 0.169		0.188	0.214	

（２）　営農飲雑用水　　該当なし省略

５　水源計画

（１）　水利用計画

（第10表-2）

区分		項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足量		水源依存量		水源工種	備考
							水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
			a	b	c=a-b	d= c/(1-d')		e	f	g=c-f	h=d-f				損失率：d'
			（千m3）	（千m3）	（千m3）	（千m3）		（千m3）	（千m3）	（千m3）	（千m3）		（千m3）		
農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）	現況	代かき期	0.192		0.192	0.226	頭首工・渓流水	0.226	0.226	－	－	頭首工・渓流水	0.226	頭首工・渓流水	15%
		普通期	0.170		0.170	0.200	〃	0.200	0.200	－	－	〃	0.200	〃	15%
	計画	代かき期	0.192		0.192	0.214	〃	0.214	0.214	－	－	〃	0.214	〃	10%
		普通期	0.169		0.169	0.188	〃	0.188	0.188	－	－	〃	0.188	〃	10%
		計													

（２）　用水対策

(7)　貯水池　　該当なし省略

(ｲ)　井堰及び自然取入口　　該当なし省略

(ｳ)　揚水機　　該当なし省略

(ｴ)　用水路

（第10表-6）

項目 名称	かんがい面積 (ha) 事業名 農山村地域復興基盤総合整備事業 （農地整備事業）		計	最大通水量 (m3/s)	延長 (m)	構造	備考
支線用水路			0.0	0.097	1,689	BF1000	地区外用水受益
小用水路			0.0	0.074	793	BF300～BF500	地区外用水受益
管水路	56.7		56.7	0.127	6,972	塩ビ管	
合計	56.7		56.7		9,454		

(ｵ)　その他の水源施設　　該当なし省略

（３）　水質水温

従来よりかんがい用水として使用されており、水稲栽培に支障は認められない。

第４節　排水計画

１　計画基準雨量

最大日雨量　Ｒ＝240㎜／day　　（最大日雨量　Ｗ＝1/10 年）
（浪江観測所の1993年～2022年の過去30年間の実測資料に基づき、岩井法による確率計算により処理した。）

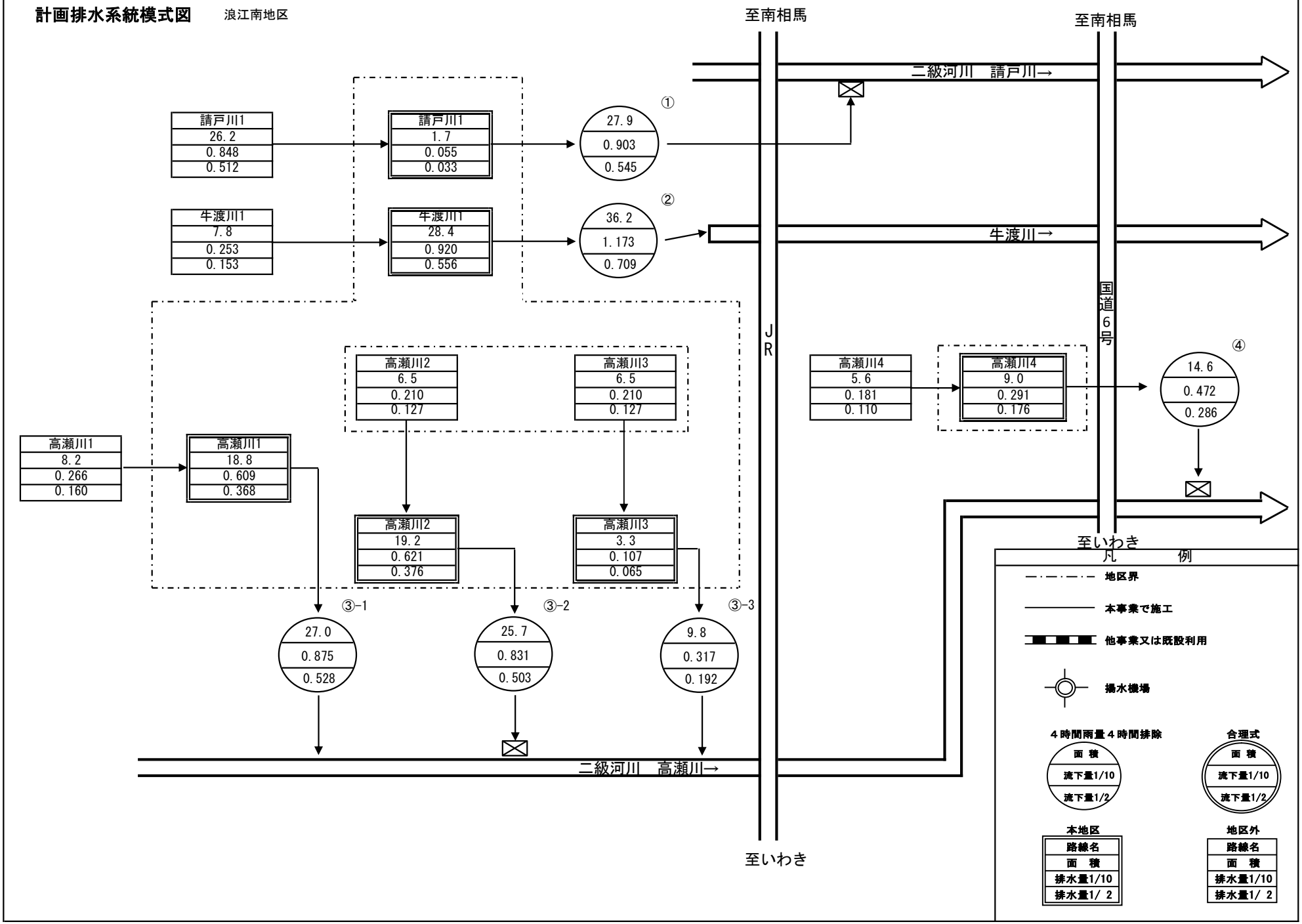
２　計画排水方式

地表水＝明渠（自然排水）

３　計画排水系統

別紙 計画排水系統模式図　参照

計画排水系統模式図　浪江南地区



４　計画排水量

（第11表-1）

項目 / 排水系統名	受益面積 (ha) 事業名			流域面積 (km²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m3／s／km²)		基底流出量 (m3／s／km²)		全排水量 (m3／s)			単位排水量 (m3／s／km²)		備考
	農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）	地区外	計	山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地 自然排水	平地 機械排水	山地	平地	
請戸川	80.4	60.8	141.2	—	1.412	240	—	3.238	—	—		4.571		—	3.238	4･4式
計	80.4	60.8	141.2									4.571				

５　排水対策

(1)　排水水門　　該当なし省略

(2)　排水機　　該当なし省略

(3)　排水路

（第11表-4）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積 (ha) 事業名			計画排水量 (m3／s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）	地区外	計				名称	計画洪水量 (m3／s)	計画洪水位 (m)	
支線排水路	0.078～0.351	28.4	7.8	36.2	0.253～1.137	838	大型水路	請戸川			
小排水路	0.001～0.270	52.0	53.0	105.0	0.003～0.897	11,102	WH排水溝	請戸川			
計		80.4	60.8	141.2		11,940					

(4)　その他

該当なし省略

６　たん水検討

該当なし省略

第５節　道路計画

地区内道路網の整備を図り農業機械の効率的利用を高めるとともに、集落と耕地の通作の円滑化を図り、農地流動化に寄与できる農道整備を目指す。

１　道路及び索道

(1)　道　路　　（第12表-1）

項目 / 路線名	全幅（有効幅）(m) × 延長 (m)	構造	既設道路との関係	備考
①　支　線　道　路	5.0 × 3,834 (4.0)	敷　砂　利　(t=10cm)	ほ　場　内　農　道	
②　支　線　道　路	4.0 × 1,468 (3.0)	敷　砂　利　(t=10cm)	〃	
③　支　線　道　路	3.0 × 483 (2.0)	敷　砂　利　(t=10cm)	〃	
④　支　線　道　路	5.0 × 2,365 (4.0)	AS（既設利用）	〃	
計	8,150			

(2)　索　道　　該当なし省略

２　路線配置図

別紙　計画道路網式図　参照

計画道路網図

凡			例		
道路区分	番　号	全　幅	有効幅	構 造	備　　考
支線道路	①	5.0 m	4.0 m	G	
支線道路	②	4.0 m	3.0 m	G	
支線道路	③	3.0 m	2.0 m	G	
支線道路	④	5.0 m	4.0 m	AS	既設利用

第６節　農用地造成計画

１　農用地造成計画

（1）農用地造成計画　　該当なし省略

（2）末端道水路配置図　　該当なし省略

２　土壌改良　　該当なし省略

第７節　洪水調節計画

１　計画基準雨量　　該当なし省略

２　計画洪水量及び調節量　　該当なし省略

３　貯水池　　該当なし省略

４　洪水調節検討

（1）　河川改修計画との関係　　該当なし省略

（2）　洪水調節が下流に及ぼす影響　　該当なし省略

（3）　計画基準雨量以外の降雨についての検討　　該当なし省略

５　管理計画

（1）　管理機構　　該当なし省略

（2）　ダム管理操作上の各種基準　該当なし省略

（3）　洪水調節要領　　該当なし省略

第８節　干拓計画　　該当なし省略

第９節　農用地整備計画

１　区画整理

現況未整備耕地を大区画ほ場に整備すると共に、農地の集団化を図り、農作業効率化と農地集積の促進を目指すものとする。

(1)　区画の形状　　（第16表-1）

長辺×短辺 (m)	区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
125×80	100	6.2	8.9	1.0m以内	
100×50	50	42.4	61.0	〃	30a以上の区画面積率　85.7%
100×30	30	20.9	30.1	〃	
計		69.5	100		

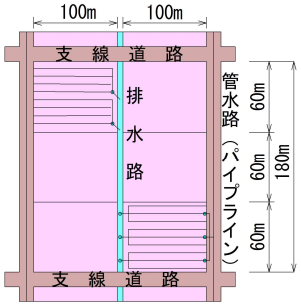
(2)　表土扱い　　（第16表-2）

面積 (ha)		表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考
黒泥土壌強粘土型	25.2	地力保全	15	37,800	C-20
灰色土壌砂土型	18.9	〃	15	28,350	F-54
灰褐色土壌強粘土構造型	5.1	〃	15	7,650	G-60
礫質土壌壌土マンガン型	7.5	〃	15	11,250	J-93
岡和田統	12.8	〃	15	19,200	
計	69.5			104,250	

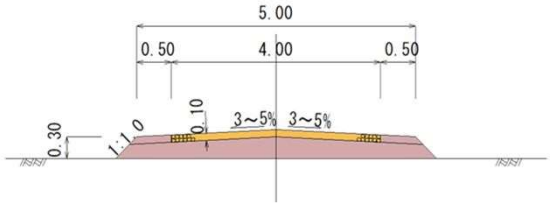
(3)　末端道水路配置図

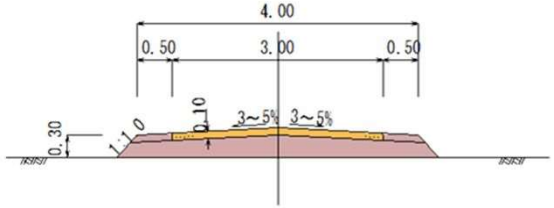
別紙　計画平面図　参照

標 準 区 画 割 図

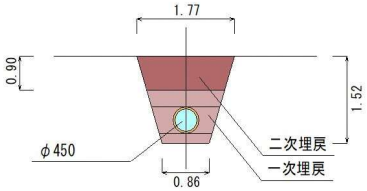


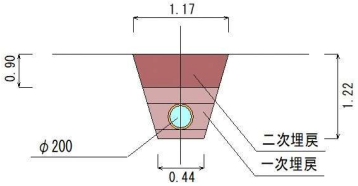
標 準 断 面 図 （支 線 道 路）



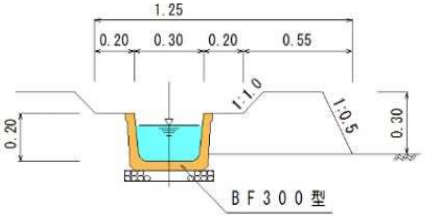


標 準 断 面 図 （パイプライン）



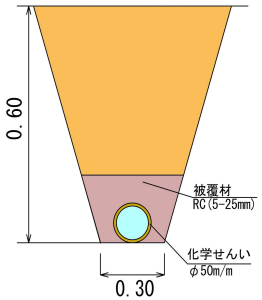


標 準 断 面 図 （小 用 水 路）

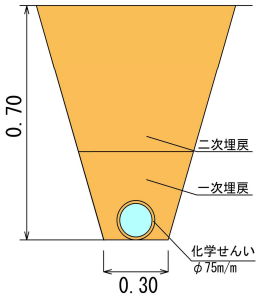


暗 渠 排 水

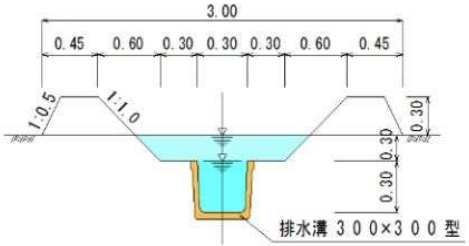
吸水渠



集水渠



標 準 断 面 図 （小 排 水 路）



２　暗渠排水

（1）　暗渠排水

（第16表-3-1）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名			土壌統（区）名	基準雨量（mm/日）	単位排水量（ﾘｯﾄﾙ/s/ha）	計画後の地下水位（cm）	集水渠出口以下の排水方法	備考
	農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）		計						
田	25.7		25.7	黒泥土壌強粘土型	240	0.00347	80	集水排水方式	
計	25.7		25.7						

（2）　心土破砕　　該当なし省略

３　客　土　　該当なし省略

４　農地保全

（1）　防災林　　該当なし省略

（2）　排水工　　該当なし省略

（3）　侵食（崩壊）防止工　該当なし省略

第１０節　老朽ため池改修計画

１　洪水吐改修計画　　該当なし省略

２　堤体補強計画　　該当なし省略

３　取水施設改修計画　　該当なし省略

第５章　主要工事計画

第１節　用水施設

１　貯水池　　該当なし省略

２　頭首工　　該当なし省略

３　揚水機　　該当なし省略

４　用水路

（第17表-4）

項目 / 水路名	かんがい面積（ha） 事業名			通水量	延長（m）			構造	勾配	主要構造物	備考
	農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）		計	(m3/s)	開渠	トンネルその他	計				
支線用水路			0.0	0.097	1,689		1,689	ＢＦ水路	1/500	分水工ほか	地区外用水受益
小用水路			0.0	0.074	793		793	ＢＦ水路	1/500～1/1000	分水工ほか	地区外用水受益
管水路	56.7		56.7	0.127		6,972	6,972	塩ビ管	―	―	
計	56.7		56.7		2,482	6,972	9,454				

５　その他かんがい施設　　該当なし省略

第2節　排水施設

１　排水水門　　該当なし省略

２　排　水　機　　該当なし省略

３　排水路

（第18表-3）

項目 / 水路名	流域面積（ha） 事業名 農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業） 地区内	地区外	計	排水量（m³/s）	延長（m） 開渠	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
支線排水路	28.4	7.8	36.2	0.253～1.137	838		838	大型水路	1/300	合流工ほか	
小排水路	52.0	53.0	105.0	0.003～0.897	11,102		11102	WH排水溝	1/300～1/1200	合流工ほか	
計	80.4	60.8	141.2		11,940		11940				

４　その他排水施設　　該当なし省略

第３節　道路及び索道

１　道　　路

(1)　道路の総括表

（第19表-1）

項目 / 区分	路線名	幅（有効）（m）	×	延長（m）	構造	付帯構造物 名称	構造	数量（箇所）	最急こう配（%）	同左の延長（m）	最小曲線半径（m）	備考
〃	①支線道路	5.00 (4.00)	×	3,834	敷砂利 (t=10cm)	暗渠工	BF組合暗渠 HP、BOXC	19	1.6	－	－	
〃	②支線道路	4.00 (3.00)	×	1,468	敷砂利 (t=10cm)	暗渠工	HP	4	0.3	－	－	
〃	③支線道路	3.00 (2.0)	×	483	敷砂利 (t=10cm)	暗渠工	BF組合暗渠 HP、BOXC	3	2.0			
〃	④支線道路	5.00 (4.00)	×	2,365	AS (既設利用)	暗渠工	HP	12	1.5	－	－	
計				8,150				38				

（2）道路主要構造物　　該当なし省略

２　索　道　　該当なし省略

第４節　農用地造成

１　農用地造成

（1）抜　根　　該当なし省略

（2）除　礫　　該当なし省略

（3）開墾作業　　該当なし省略

（4）地目変換　　該当なし省略

（5）末端用水路等　　該当なし省略

（6）末端排水路等　　該当なし省略

２　土壌改良　　該当なし省略

第５節　洪水調節施設

１　貯水池　　該当なし省略

２　頭首工及び導水路

（1）頭首工　　該当なし省略

（2）導水路　　該当なし省略

第６節　干拓施設

１　堤　防　　該当なし省略

２　潮止め　　該当なし省略

３　付属施設　　該当なし省略

４　埋　立　　該当なし省略

第７節　農用地整備施設

１　区画整理

（1）区画整理

（第23表-1）

工　区　名	面　積（ha）	整　地　工		表　土　扱　い		備　考
		標　準　区　画	運転時間（hr）	面　積（ha）	土　量（m3）	
農山村地域復興基盤総合整備事業 （農地整備事業）	69.5	30a～100a	14,241	56.7	85,050	輪換耕地 計画地目・田
〃						
計	69.5		14,241	56.7	85,050	

（2）末端用水路

（第23表-2）

区分＼項目	数　量	規　模	構　造	備　考
支線用水路	1,689　m	BF1000	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（ﾍﾞﾝﾁﾌﾘｭｰﾑ）	
小用水路	793　m	ＢＦ300～BF500	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（ﾍﾞﾝﾁﾌﾘｭｰﾑ）	
管水路	6,972　m	VUΦ75～500	塩ビ管	

（3）末端排水路

（第23表-3）

区分＼項目	数　量	規　模	構　造	備　考
支線排水路	838　m	大型水路2000×1000～大型水路2400×1000	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（大型水路）	
小排水路	11,102　m	WH300×300～WH900×900	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（ＷＨ排水溝）	

２　暗渠排水

（1）暗渠排水

（第23表-4-1）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名		集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）	計	勾配	管種	管径（mm）	延長（m/ha）	勾配	管種	管径（mm）	深さ（m）	間隔（m）	延長（m/ha）	名称	構造	数量（m/ha）	
強粘土型	25.7	25.7	1/300	化学繊維	75	13	1/500	化学繊維	50	0.8	10	261	小排水路	WH排水溝		

（2）心土破砕　　該当なし省略

３　客　土　　該当なし省略

４　除　礫　　該当なし省略

５　農地保全

（1）防風林　　該当なし省略

（2）排水路　　該当なし省略

（3）侵食防止工　　該当なし省略

第８節　老朽ため池改修施設

１　貯水池　　該当なし省略

２　堤体補強施設

（1）のり面保護施設　　該当なし省略

（2）漏水防止工　　該当なし省略

第６章　附　　帯　　工　　事　　計　　画

該当なし省略

第７章　工事の着手及び完了の予定時期

着工予定　　令和　6 年度
完了予定　　令和 11 年度

第８章　環 境 と の 調 和 へ の 配 慮

１　配慮創造の区分

環境創造区域

２　本地区で配慮すべき動植物

カワニナ、シマドジョウ、カワセミ、トンビ

３　環境配慮の方法

当地区周辺は環境創造区域に指定されていることから、本事業においては、事前調査に基づき、地域が保有する水生動植物の生態系に配慮した水路整備を行う計画とした。

第９章　換地計画の概要

第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区はJR常磐線「浪江駅」の南へ約0.7km、常磐自動車道浪江インターチェンジの南東へ約2.8kmの地点に位置し、二級河川高瀬川左岸に拓けた水田地帯である。東日本大震災による津波被災と原発事故に伴う避難指示等により住民が長期間避難したことから、町内にある土地改良施設は従来のような維持管理が不可能となり、施設の劣化や機能低下が進んでいる。
このため、本事業により区画整理による耕地の汎用化、道路の整備及び用排水路の整備による生産性の向上や労働時間の短縮が可能となり、将来耕地の集団化、経営管理の合理化等を推進し農業の継続振興に寄与する。したがって換地計画を作成するにあたっては事業の目的達成のため農地の流動化と集団化を促進するなど、農業構造改善に資する換地計画を作成することを基本方針とする。

第２節　換地区の設定

１　換地区の名称、所在、面積　（第25表－1 ）

換　地　区　名	換　地　区　の　所　在	面　積（ha）
全　工　区 （換地区は設定しない）	双葉郡浪江町大字幾世橋字一里檀 双葉郡浪江町大字牛渡字沢目 双葉郡浪江町大字小野田字上高塚 双葉郡浪江町大字川添字下高塚、字三斗蒔、字小丸田、字上高塚、字瀬田前、字二又 双葉郡浪江町大字樋渡字河田、字西御門、字前田、字竹の花、字田和津田、字土渕川原、字舞台	80.4

２　換地区を設定する理由
該当なし

第３節　換地計画樹立の基本方針

１　従前の土地の地積基準　（第25表－2 ）

換　地　区　名	地　積　の　基　準
全　工　区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。 ただし、上記の日から３ケ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合は、その申し出のあった地積とする。 従前の土地の地目は、土地改良事業計画決定の日の登記地目とし、用途については、土地評価により決定する。

2 用途別予定地積

（単位：ha）　（第25表－3）

換地区名	用途 前後	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施行地域に含める土地（令第1条の9（ ）書）			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上・経営上必要な施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等	計							
全工区	従前の土地	57.0	12.8	0.0		0.0		0.0	69.8					69.8													10.6	10.6		80.4
	換地	56.7	12.8						69.5					69.5													10.9	10.9		80.4
	従前の土地																													
	換地																													
合計	従前の土地	57.0	12.8	0.0		0.0		0.0	69.8					69.8													10.6	10.6		80.4
	換地	56.7	12.8						69.5					69.5													10.9	10.9		80.4

3 農用地集団化の方針

（第25表－4）

区分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当り目標団地数	区画畦畔の取扱い
全工区	地目別集団化 農用地利用集積促進区域別集団化	換地は、受委託・利用権設定等促進を考慮し、育成すべき経営体の所有農用地が利用集積の核となるようにできるだけ集団化するのとする。 換地は、各人の従前の土地が密集した位置を中心に定める。ただし、各農家の集団化及び育成すべき経営体の利用集積に係る集団化を図ることにより、従前の土地の位置がかなり動く場合には、概ね同じ条件の土地を選定して集団化する。	各農家の農地は、できるだけ大規模に集団化するものとし、1戸当たりの団地数は特殊地を除き、概ね田については1～3団地、畑については1～2団地を目標とする。	水田は、固定畦畔とする。

4 非農用地の換地方法　　（第25表-5）

区分 換地工区	用　途	非農用地区域の位置の概略	面積 （㎡）	換地の手法	換地取得予定者 （一次取得者）	その他 （最終取得者）
	該当なし					
	計					

第4節 土地の評価及び清算の方法

１ 評価の方法

１．換地・評価委員会において土地評価を行う。

２．土地の評価方法は、標準地比準方式によって行うものとする。

２ 清算の方法

増価額比例地積清算方式とする。

・　清算は、従前地の総価額と換地の総価額との差額（増価額）を従前の地積に比例して交付し、従前の土地の価額と増価額を合計して換地交付基準額を定め、換地の価額との差額を徴収又は、交付し清算する。

・　不換地等の清算にあたっては、増価額の按分は行わない。

第5節 換地計画樹立の年度計画

（第25表-6）

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の認可予定年度	換地処分予定年度	備考
全工区	令和8～10年度	令和10年度	令和11年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

本地区については、地区の全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは土地改良法第89条の2第10項により準用する同法第54条第2項の本文の規定ただし書きに基づき換地処分を行うことができる。

第 １０ 章　　事業費の総額および内訳

総　　額　2,037 百万円　　（地方事務費含み　2037　百万円）　　（第26表）

種目		全体		農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）		農業経営高度化支援事業		備考
		事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	
工事費		69.5 ha	1,718 百万円	69.5 ha	1,718 百万円		百万円	
内容	区画整理	69.5 ha	1,660 百万円	69.5 ha	1,660 百万円			
	かん排	m		m				
	暗渠排水	25.7 ha	58 百万円	25.7 ha	58 百万円			
	客土	ha		ha				
	附帯工	式		式				
生活環境整備		式		式				
測量試験費		80.4 ha	176 百万円	80.4 ha	176 百万円			
用地補償費		1 式	52 百万円	1 式	52 百万円			
営繕費								
全体実施設計費		ha		ha				
換地費		80.4 ha	74 百万円	80.4 ha	74 百万円			
工事雑費		式		式				
小計			2,021 百万円		2,021 百万円			
農業経営高度化支援		1 式	16 百万円			1 式	16 百万円	
内容	指導事業	69.5 ha	4 百万円			69.5 ha	4 百万円	
	調査・調整事業	69.5 ha	12 百万円			69.5 ha	12 百万円	
	高度経営体集積促進事業	ha	百万円			ha	百万円	
小計			2,037 百万円		2,021 百万円		16 百万円	
地方事務費								
合計			2,037 百万円		2,021 百万円		16 百万円	
助成対象			2,037 百万円		2,021 百万円		16 百万円	

第１１章　効　　用

（第27表）

事業名	項目／区分	全体 年総効果額（便益額）	全体 年増加農業所得額	全体 現況年総農業所得額	農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業） 年総効果額（便益額）	農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業） 年増加農業所得額	農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業） 現況年総農業所得額	年総効果額（便益額）	年増加農業所得額	現況年総農業所得額	備考
農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）	作物生産効果	千円 15,904	千円 55,261	千円 5,726	千円 15,904	千円 55,261	千円 5,726	千円	千円	千円	
	営農経費節減効果	155,656	156,022		155,656	156,022					
	維持管理費節減効果	△ 20,053	2,490		△ 20,053	2,490					
	国産農産物安定供給効果	13,409	－		13,409	－					
	耕作放棄防止効果	480			480						
	非農用地創設効果	0									
	計	165,396	213,773	5,726	165,396	213,773	5,726				

≪補足≫

総費用　2,378,919 千円
総便益額　2,756,093 千円　　総費用総便益比＝ 2,756,093 ／ 2,378,919 ＝ 1.15 （ ＞ 1.00 ）

年償還額　－ 千円
現況年総農業所得額　5,726 千円　　総所得償還率＝ － ／ 5,726 ＝ － （ ≦ 20% ）

年償還額　－ 千円
年増加農業所得額　213,773 千円　　増加所得償還率＝ － ／ 213,773 ＝ － （ ≦ 40% ）

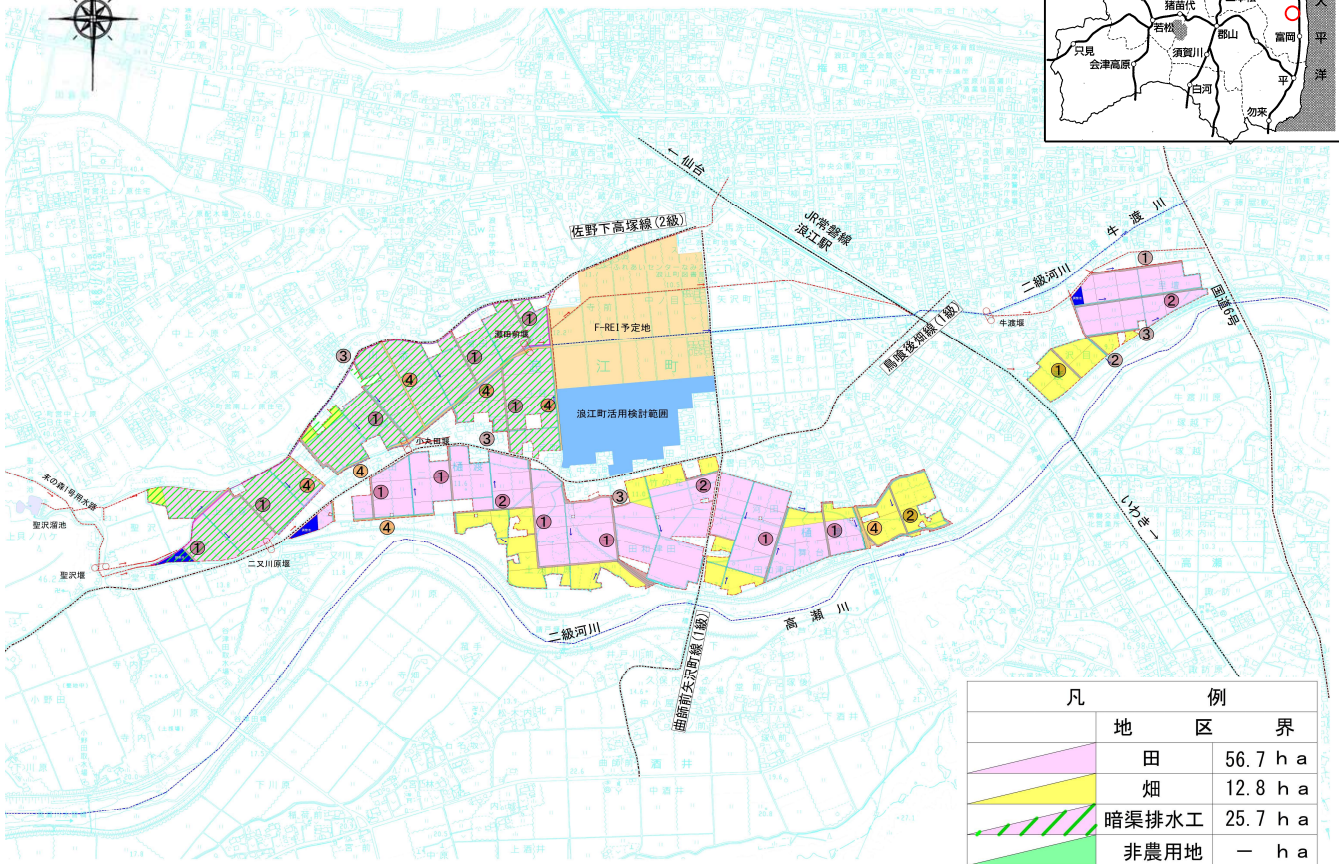
第１２章　関連する事業

該当なし省略

第１３章　現況・計画図面

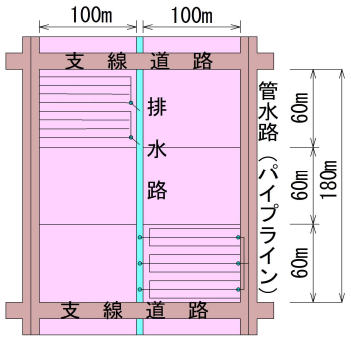
1　計画一般図

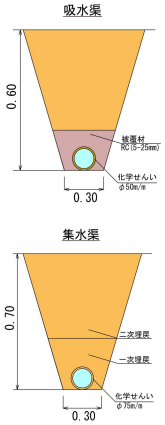
計画一般図



位置図

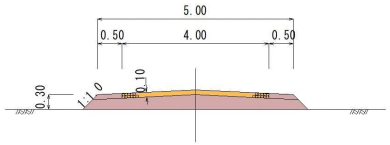
標準区画割図



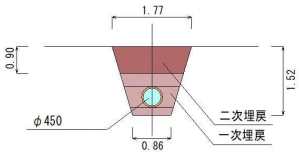


標準構造図

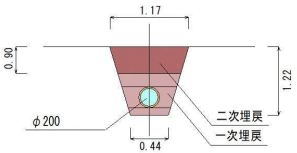
標準断面図 (支線道路)



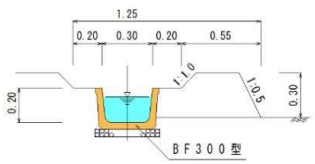
標準断面図 (パイプライン)



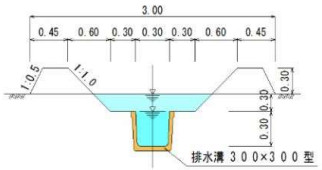
標準断面図 (パイプライン)



標準断面図 (小用水路)



標準断面図 (小排水路)



凡	例				
道路区分	番号	全幅	有効幅	構造	備考
支線道路	①	5.0 m	4.0 m	G	
支線道路	②	4.0 m	3.0 m	G	
支線道路	③	3.0 m	2.0 m	G	
支線道路	④	5.0 m	4.0 m	AS	既設利用

凡	例	
	地区界	
	田	56.7 ha
	畑	12.8 ha
	暗渠排水工	25.7 ha
	非農用地	ー ha
	支線道路(敷砂利)	
	既設道路(AS)	
	支線用水路	
	小用水路	
	支線排水路	
	小排水路	
	既設用水路	
	既設排水路	
	パイプライン	56.7 ha